

第18回関西 MISt 研究会 開催報告

平成28年11月5日(土)に梅田スカイビル36Fにて第18回関西 MISt 研究会を開催いたしました。今回は「チームで MISt -安心・安全な手術を目指して」をテーマにプログラムを組ませていただきました。関西のみならず徳島、岡山、香川、名古屋、東京、北海道、熊本などから100名を超えるご参加をいただき、盛会のもとに無事終了しましたのでご報告いたします。関西 MISt 研究会史上最多参加者数とのことで、御協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。ビデオセミナーでは、小谷善久先生、生熊久敬先生、篠原光先生、松川啓太郎先生といった日本全国のエキスパートの先生方に手術手技の詳細や特徴、ピットフォールなど、動画を交えて講義をいただきました。その後、一般演題をご発表いただきました。今回は、「MISt 研究会は今後保存加療もテーマに含める」との方針を受け、杉田誠先生に「骨粗鬆症性脊椎椎体骨折に対する骨折型別治療方法」という演題を発表いただき、「安全な手術」という本会のテーマから、山下一太先生に「新鮮未固定遺体を用いた X 線透視による被曝量の調査－照射線源の位置に着目して－」という大変意義深い演題をいただきました。一般演題は合計5題でどの演題も内容のレベルが高く、活発な討議が行われました。シンポジウムは「側臥位後方固定」という内容で小谷善久先生、生熊久敬先生、大塚聖視先生と成田 渉で討議が行われました。特別講演では、和歌山県立医科大学 整形外科学講座 准教授 山田 宏先生より「XLIF technical tips -われわれの工夫-」という演題名で、XLIFに必要な解剖知識や手術手技の工夫、インプラントの特徴や問題点も含め、わかりやすく解説いただきました。また、MIStに関わるコメディカルの皆様やこれから MISt を始める若手の先生向けにコメディカルセッションを3題ご発表頂き、ハンズオンを開催させて頂きました。今回の研究会を成功裏に終えることができたのも多くの先生方やサポート頂いた共催のファイザー株式会社や協賛の各メーカー様のおかげと存じます。御参加・御発表いただいた先生方には深く感謝申し上げます。次回の第19回関西 MISt 研究会は、平成29年4月1日(土)に神戸赤十字病院 伊藤康夫会長のもとで開催される予定となっております。会員の皆様におかれましては是非ご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。

第18回関西 MISt 研究会 当番幹事

成田 渉 (祐生会みどりヶ丘病院脊椎脊髄外科センター)

